

いつまでも
ペットと一緒に



犬を飼いたい高齢者と、 人と暮らしたい高齢犬をつなぐ、 『シニアドッグ・サポーター制度』 わずか1年余りで 50人の高齢者サポーターが 誕生しました！

昨年秋に放映されたNHK BSプレミアム「家族になろうよ～犬と猫と私たちの未来～」をご覧になった方でしたら、コメントターの糸井重里さんが「このシステムは、高齢犬にとっても高齢者にとっても、これは素晴らしい」と激賞されたのをきくと覚えておられるのではないのでしょうか。

今日は、その『シニアドッグ・サポーター制度』を考え出された名古屋市のNPO法人 DOG DUCAにお伺いし、代表の高橋忍さんにお会いしました。

高齢犬はもちろん、 サポーターの高齢者をも守るシステム

犬と全く縁のない生活をしてきた高橋さんが、人生の導き手といえる愛犬 DUCA(デユッカ)に出会ってから今年で20年。ドッグトレーナーをするうちにごく自然に不幸な犬たちを救うようになり、NPOを立ち上げて殺処分ゼロに真正面から取り組んでこられました。

この間、高齢の飼い主が病気や死去などで取り残されるペットがあまりにも多いことに心をいためてこられました。

実際、DOG DUCAが昨年に保護した犬は86頭、うち高齢者に飼われていた犬は26頭、実に3割に達します。高齢者に飼われていた犬たちは、飼主と共に年を重ねてきたシニア犬ばかり。



高橋忍さんと死去した独居老人のもとでレスキューされたリブちゃん

人好きでおとなしく、飼いやすいのですが、高齢ならではの病気を抱えているケースもあります。そのため、譲渡がなかなかすすみません。

一方、平成24年の改正動物愛護管理法で「終生飼養」が義務付けられてから、自治体の多くが高齢者に保護動物を譲渡しなくなったのも拍車をかけました。犬を飼いたい高齢者は、「老い先短い自分が犬を飼うことはできない」と諦めてしまう傾向が強くなりました。

犬を飼いたい高齢者にも人と暮らしたい高齢犬にも、互いの想いが通じない冷たい社会になっています。

それなら、『高齢者』と『高齢犬』を<つなぐ>ことにしたらいいのではないかと。このマッチングを阻害するものは、唯一、高齢者に万が一のことがあって高齢犬が取り残されること。この点をクリアする仕組みを作れば、高齢者も高齢犬も幸せになれるはずなんです。

そこで、高橋さんが考え出したのは、『シニアドッグ・サポーター制度』。

その名の通り、高齢犬を「譲渡する」のではなく、「支援(サポート)する」システム。高齢者が高齢犬を幸せにする、保護活動のひとつとして位置づけ、DOG DUCAが仲立ちや困りごとに対処するというものです。

2019年10月からスタートした『シニアドッグ・サポーター制度』、わずか1年2か月、50人もの高齢者サポーターが誕生しました。これだけの方々サポーターに名乗りを上げたのですから、犬を飼いたいと切望していた高齢者がいかに多かったかがわかります。

この制度は、愛知県内限定の運用です。その理由を高橋さんにお尋ねすると、もしものときに高橋さんが高齢者のもとに駆け付けられないと困るから、『シニアドッグ・サポーター制度』は、高齢犬はもちろん、お世話をする高齢者をも守らなくてはならないシステムでもあるわけです。サポーターの高齢者とは毎日、LINEでコミュニケーションをとり、ワンちゃんの相談はもちろん、ご本人の悩みにもこまめに応えておられます。

飼育放棄を防ぐためには、 真の動物愛護の啓発が不可欠！

高橋さんが抱っこしている高齢犬は、リブちゃん。昨年3月、病院のケアマネジャーさんからの保護依頼でレスキューされた子です。高齢の一人暮らしの飼い主さんが倒れられて入院、その後死去。部屋に取り残されていたリブちゃん、右脚が黒く壊死していました。飼い主さんが入院中、この脚をなめて飢えをしのいでいたのでしょうか。下肢切断手術が必要でした。右目も失明していました。

今でもほとんど動けない状態です。しかし、食欲はしっかりあります。骨が浮き出した状態だったからでもふっくらとし、毛艶も戻っています。ただ、哀しいことに喜怒哀楽がほとんどありません。たった一匹で取り残された時間をどのような想いで過ごしていたのかと思うと心が締め付けられます。

リブちゃんが生きようとする力、生き抜く生き様をみるにつけ、いのちの大切さを教えられると高橋さん。かつて高橋さんが愛犬DUCAに導かれたように、犬は過ぎ去った後ろをみない。これから起こるかもしれない先々のことを考え、惑わない。ただただ、「今」を最大限に生きる。人間が忘れがちになっている「生きる」ことのすばらしさを教えてくれる存在だといえます。

高齢者の飼育放棄が社会問題としてとりあげられるたびに、飼う側が犬や猫のいのちに対してあまりにも不遜ではないかと思わざるをえないと高橋さん。これからは、私たち、飼う側にとって真の動物愛護とは何かを問いかけ、啓発していきたいと力強く語ってくださいました。



DATA

■わんわん保育園 DOCA(株) / NPO法人 DOG DUCA

代表:高橋 忍(名古屋コミュニケーションアート専門学校講師)
[連絡先]

◎わんわん保育園・NPO法人DOG DUCA:052-795-5003

〒463-0072 愛知県守山区金屋1-23-26

◎トリミングサロン守山本店:052-875-9234

〒463-0072 愛知県守山区金屋1-23-26

◎トリミングサロンDOCA 勝川店:0568-33-3501

〒486-0929 愛知県春日井市旭町1-6「ままま勝川」内1階

スタッフ:8名

ホームページ:

<http://dogduca.sunnyday.jp/>

『ころんでもまっすぐに！
一犬に救われた
ドッグトレーナーが見つけた
<生命>をつなぐ道』
著者:高橋 忍+田中聖斗
発行者:ゆいばおと



ペットライフネットの



「わんにゃお信託®」は、
大切なペットと終生ともに暮らしたいと願う
シニア世代のために創りました。
飼い主のあなたに「もしも!」のことが起こった時、
あなたの遺志を受け継ぎ、
ペットの終生飼育を実現します。

5種類の「わんにゃお信託®」で、 ペットの終生飼育を 実現します。

もしもの時、 ペットを託せる人がいない方のために…

- ① わんにゃお定期**
すでにペットの終生飼育費用を用意している方に最適です。
- ② わんにゃお遺言**
病気入院や高齢者施設への入居などで、ペットのお世話ができなくなることがはっきりした方にお勧めしています。
- ③ わんにゃお信託**
終生飼育費用を自分名義の定期預金で管理するのが苦手な方には、信託会社にまかせる信託契約をお勧めします。
- ④ わんにゃお積立**
ペットを飼いはじめたばかりで、ペットの生涯飼育費用をこれから貯めていこうと考えている方にお勧めします。

もしもの時、 ペットを託せる人がいる方のために…

- ⑤ わんにゃお民事信託**
もしもの時、ペットの世話を頼める方がいる場合に適した方法です。

